Number.8-2022 フェスタサマーミューザ KAWASAKI 2022
発行所：ミューザ川崎シンフォニーホール
〒212-8557　川崎市幸区大宮町1310　TEL044-520-0200
8月2日(火)発行

MUZA KAWASAKI SYMPHONY HALL

ほぼ日刊サマーミューザ 朝刊

Hobo Nikkan Summer Muza

二人のピアニストの音が放つ圧倒的なパワーと輝き

7/31　超絶技巧のロシアン・ピアニズム

©T.Tairadate

小川典子とイリヤ・ラシュコフスキーによる「超絶技巧のロシアン・ピアニズム」と題した2台ピアノリサイタル。二人のピアニストの音が放つ圧倒的なパワーと輝き、そしてロシアの作曲家たちの天才性を存分に味わう時間となった。

演奏会は、2台のピアノの音が溶け合う柔らかい響きの上で、ボロディンのあの有名な「だったん人の踊り」のメロディが優しく歌われて幕を開けた。

続けて演奏されたストラヴィンスキー「春の祭典」は、当初2台ピアノを予定していたが、「リハーサルをするうち、緊密なコミュニケーションが必要なので元の楽譜の通り、連弾で弾くことになった」(小川)という。その決断が功を奏し、大所帯のオーケストラではなし得ない機敏で鮮やかな表現、しかし音色の種類と音量は十分という、ピアノならではの美点が発揮された演奏。セカンドのラシュコフスキーが思い切りの良い、時に暴力的なほどの和音を鳴らし、その上でファーストの小川が生命力ある輝かしい音を奏でる。大自然のエネルギー、儀礼のトランス状態さえ感じさせる場面もある、熱演だった。

後半は再び2台のピアノで、ラフマニノフの交響的舞曲。ファーストのラシュコフスキー、セカンドの小川とも、さまざまなタッチを用い、幾層にも重なる芳醇なハーモニーでラフマニノフのシンフォニックな世界を描きあげた。

アンコールには、2台ピアノのための組曲第1番より、第3楽章「涙」。深いため息のようなフィナーレの和音まで見事に息の合った演奏で、ふくよかかつ静かな響きを客席に届けた。(高坂はる香・音楽ライター)

左：小川典子、右：イリヤ・ラシュコフスキー

お客様から

小川典子さんのピアノ連弾、待ちに待った演奏会で「春の祭典」を聴けてとても嬉しいです。連弾に変更したことでより濃密な世界になっていると感じました。(70代・F)／特に春の祭典は格闘技でした。1台でのピアノの演奏は時に鍵盤のある領域に4本の手が集中して立体パズルを解くような雰囲気でした。メロディーのない曲に打楽器としてのピアノの本領発揮というもの。(60代・ベクター)／タタール系ロシア人、ボロディンの「だったん人の踊り」も、ウクライナ系ロシア人、ストラヴィンスキーの「春の祭典」も、ロシア音楽と言われながらも非ロシア性を前面に出した名曲。イリヤと典子が豪華絢爛な色彩感に添えて、メガトン級のタッチでもって、最高の響きを届けてくれました。ブラヴィー!!(60代・ヒロ・ミヒャエル)／2台のピアノの堂々としたステージに圧倒されました。(10代・Chan)／息をするのも忘れるほどの、とても美しく深い演奏に感動しました。どんなに激しく大きな音量でも震えるほどの美しさ。何度も涙しました。素晴らしい残響まで堪能して拍手。観客のマナーも素晴らしかった。(50代・ころちゃん)／春の祭典に熱狂した。強烈なリズムの中、縦横無尽に動きまくる20本の指。一瞬も見逃すまいとオペラグラスでガン見しました。こんなに短く感じた春祭は初めてです。(50代・イバラキスト)

配信控え室から

サマーミューザは配信も充実！
見どころ・聴きどころや
配信の現場の声をお届けします。

今日の配信映像の見どころはなんと言っても連弾の「春の祭典」。手元を狙ったカメラでは、凄まじい連打、重なり合う 2 人の奏者の手を、正面＆サイドからは鬼気迫る表情を捉えています。客席からは見ることのできない、映像ならではの迫力です。　(From ディレクター)

上記レビュー公演のアーカイブ配信は 8/2（火）正午から開始♪

【曲目】
ボロディン：歌劇「イーゴリ公」から だったん人の踊り
ストラヴィンスキー：バレエ音楽「春の祭典」
ラフマニノフ：交響的舞曲
【配信限定コンテンツ】
オープニングインタビュー：
小川典子、イリヤ・ラシュコフスキー（ピアノ）

主催：川崎市、ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)　後援：川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、OTTAVA
映像・音響制作：YouClassics　配信協力：株式会社ぶらあぼホールディングス、エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社
助成：文化庁 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）｜独立行政法人日本芸術文化振興会

ピアニストの小川典子が「イッツ・ア・ピアノワールド」に登場するのは2年ぶり。この公演は、「こどもフェスタ2022」の一環で、4歳の子どもから入場可能な1時間のリサイタルのスタイルで行なわれ、多くの親子連れでにぎわっていた。

小川の音には日本人離れしたパワーがみなぎり、広いホールの隅々まで響きがはっきりと伝わっていく。その音は明るく活力に満ちあふれている。ハイドン《ピアノ・ソナタ第62番》の第3楽章では、生き生きとしたタッチですっきりとした作品の構造を美しく浮かび上がらせる。続いて、ベートーヴェン《ピアノ・ソナタ第21番》の第1楽章。2つの主題の性格や強弱の対比を大きく打ち出し、弱奏における粒立ちも美しい。明確な打鍵を通してスケールの大きな音楽を作り上げた。ドビュッシーからは、まず「雨の庭」。小川らしくリズムの力点をはっきりと表わし、音の芯を弾ませながら色彩のグラデーション豊かな音楽を生み出す。同じく《前奏曲集第2集》から3曲。指先の鋭敏な意識を通して、音の色合いを繊細に変化させ、生彩に富んだ音楽を描き上げた。グリーグの《抒情小品集》からは「小人の行進」と「トロルドハウゲンの結婚式」。主部と中間部の表情を大胆に変化させ、殊に中間部における心象表現のデリケートさは見事。「質問コーナー」で事前に寄せられた質問に、小川はわかりやすく解答。こどもだけではなく、おとなの音楽愛好家も楽しめる充実した内容の演奏会であった。　（道下京子・音楽評論）

上記レビュー公演のアーカイブ配信は8/2（火）正午から開始♪

【出演】小川典子（ピアノ）

お客様から

音が大きくなったり小さくなったりするのがよかったです。ありがとうございました。すごくたのしかったです。(10代・小学生・光りく)／中学受験を機に三歳から習っていたピアノをやめてしまった私。今日の素晴らしい演奏を聴いて、クラシック音楽に魅了され、再びピアノ弾きたくなりました。ブランク長すぎるけど弾けるかな～！！！(40代・主婦・モカ)／素晴らしい演奏をありがとうございました。特にグリーグの「トロルドハウゲンの結婚式」は、草原でのグリーグの銀婚式が浮かんでくるようでした。グリーグの伝えたかった情景を伝えられる小川典子さんに感銘を受けました。(40代・令和ケンシロウ)

全公演映像配信！
8月末まで見放題♪
☑ 臨場感あふれるカメラアングル
☑ こだわりの音質
☑ 配信オリジナルのインタビューなど
オンライン鑑賞券
全19公演セット券 12,000円
1回券　500円～1500円
購入・視聴は
ミューザWebチケットで！

パートナーショップのご紹介
エンジョイ！川崎！！
Enjoy Kawasaki

超濃厚！新感覚ラーメンをミューザで堪能！

今回ご紹介するのはミューザビル1Fに店舗を構える「Tomato＆みそヌードル 慶次」さんの、**濃厚海老ヌードル(税込み：1,080円)**です。

麺は全粒粉麺(細麺)、多加水手揉み平打ち麺、タピオカ入り平打ち麺の3種類、辛さも6段階で選べるという細やかさ。

そしてこのお店の特徴が、何と言っても海老の旨みの凝縮した超濃厚スープ！麺と絡んで絶品！贅沢な気持ちになります！

3種類のサイドディッシュはさっぱりした味付けで箸休めとしてピッタリ。ランチタイムはさらにソフトドリンクとミニサラダも付きます。ディナー料理はチーズの盛り合わせやムール貝の白ワイン煮などお酒に合う料理も揃っており、パートナーショップのクーポン券提示で10%引き(ディナータイムのみ)です。是非お立ち寄りください♪(受付/ゆたんぽ)

Tomato＆みそヌードル　慶次
A ミューザ川崎 1F
パートナーショップ特典
飲食代 10%OFF　※同伴者も利用可

コンサートと一緒に
もうひとつのお楽しみ！
PARTNER SHOP
掲載店一覧はこちら
↑サービス対象店舗はこの POP が目印！
スマホからクーポン券を提示するだけ！
クーポン券は 7/23 ～ 8/11 まで
何度でも利用できます。
公演がない日でももちろん OK ！

フェスタサマーミューザ公式サイト
https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/

#フェスタサマーミューザ
#夏ジャーン
で検索＆投稿
お待ちしています！

Twitter : @summer_muza
Facebook : @kawasaki.sym.hall
Instagram : @muzakawasaki

日刊サマーミューザ（ほぼ）
Hobo Nikkan Summer Muza

スタッフ日誌

サマーミューザもちょうど折り返し。川崎への通勤電車で、大きなスポーツバッグや、時には楽器のケースを背負った若者をよく見る季節になりました。そう、夏とは部活動の本番でもあります。

思い返せば十数年前、私もそんな部活に燃える高校生のひとりでした。朝から晩まで吹奏楽漬けの毎日…今だったら絶対に1週間もたないと断言できます。そもそも今は「部活動のあり方に関する総合的なガイドライン」などが定められましたので、あんなふうにモーレツな練習はもうできません。まわるまわるよ時代はまわる、これは決してわるい変化ではないと、個人的には思います。

数年前からは感染症対策のため、ながらく部活動自体ができない状況のバンドも多かったことと思います。バンドによってご事情が違うと思いますが、どうか皆様の音楽ライフがすこしでも良いものになるよう、遠くでこっそりお祈りしています。そして、部活動ができなくて悲しいときには、演奏会に出かけてみることもおすすめさせてください。ひょっとするとそうして偶然出かけたコンサートで、新たな世界が開けちゃうことも、あるかもしれませんよ。フェスタサマーミューザのU25チケットも、各席種半額（一部例外あり）で、好評発売中です。

（広報U）

主催：川崎市、ミューザ川崎シンフォニーホール（川崎市文化財団グループ）　後援：川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、OTTAVA
映像・音響制作：YouClassics　配信協力：株式会社ぷらあぼホールディングス、エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社
助成：文化庁 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）｜独立行政法人日本芸術文化振興会